



第 266 号
(9月)
2023

これからどうする幼児教育

学校法人内丸学園 盛岡幼稚園 理事長 坂本 洋

この春以来、こども家庭庁が新設され、新法の「こども基本法」が制定し執行されております。これまでも子どもに関する最善の利益優先の政策が、教育基本法、学校教育法や児童福祉法、母子保健法等により行われておりましたが、今ひとつ一体的に進展せず、具体効果が遅々とする状況に、こども家庭庁の新設による組織一体化による早期効果促進を図る目的です。

私も業界関係者は以前から幼児教育・保育の縦割り行政ゆえの岐路に立つ課題を幼保一体化として乗り越えられるよう要望しておりましたので歓迎しております。

とは言いつつも、子どもの教育・保育の現状課題は、少子化で入園児の減少、保護者負担の保育料の無償化による新たな課題、施設入所待機児の解消、施設の専門性資質の向上、職員養成資質向上と職員の処遇改善、施設運営可能な公定価格改善、地域社会と連携する施設運営環境の促進等の数々が山積しており、その解決や乗り越えるために費やすエネルギーは半端なものではありませんし、これから「どうする幼児教育」と迫っております。

時宜的にNHK大河ドラマ「どうする家康」の物語、それぞれ課題は違っても岐路に立つ選択肢の解決や乗り越える事件はドラ

マとして、個人的に興味をもって視聴しておりますが、正に一つ一つの課題に真摯に向き合い対応しなくてはなりません。

従って先ずは、こども家庭庁の行政施策の早期促進に期待しつつ、業界団体として少子化園児減少対策や専門性資質向上制度や公定価格の増額等はしっかりとした基本調査数値をまとめ改善要望として掲げることが必要。

また何よりも片時も休むことが許されない幼児の保育・教育の現状を預かる我々は、次代を担う子ども達の人格形成期の基本育成、平成二十九年改正の幼稚園教育要領に示された3つの育む資質や能力の柱。環境を通して行う遊びや生活の中で、○体験を通して何かを感じたり、気付いたり、分ったりする、知識・技能の基礎。○

気付いたこと、出来るようになったことを使いながら、どう考えたか、試したり、工夫したり、表現するかの、思考力・判断力・表現力の基礎。○このような体験を通して心構え・意欲・態度が育つ中で、更により良い生活を営むかの、学びに向かう力・人間性の基礎を、次代に必要な育む目標の柱とし

ました。(この改正は保育所保育指針、認定こども園教育・保育要領と同一改定されております)

更にこの柱のもとに、幼児期の終わりまでに育ってほしい具体的10の姿が明確化され、日常の教育・保育指導の目標としており、当園では保護者の皆様にも子ども達の育つ活動報告を可視化しながらご理解を頂く努力を重ねておるところです。このことを「これからどうする」の土台として、保護者に選択される施設、職場保育者が力を発揮し働きたい教育環境の整備に努めることが肝要だと考えます。

新学習指導要領において育成を目指す資質・能力

学びに向かう力、人間性等

どのように社会・世界と関わり、よりよい人生を送るか

理解していること・できることをどう使うか

思考力、判断力、表現力等

何を理解しているか、何ができるか

知識及び技能

理解していること・できることをどう使うか

思考力、判断力、表現力等



「♪ダンスホール」

最後の運動会！

Aクラス担任 新沼 弥英

Aクラスのみんなにとつて幼稚園最後の運動会が終わりました。Aクラスが参加したのは、障害物競走、マット取り、バルーン、リレーの4つ。運動会に向けて練習する中で負けて悔しくて涙が止まらない子、勝つことができず友達と一緒に喜ぶ子ども達も達士で励まし合う姿、一生懸命に取り組む姿が沢山見られました。リレーやマット取りではチームとして「どうしたら勝てるか」などの作戦会議を何度もしました。バルーンもみんなで声を出し合った

り、教え合ったりと空き時間を見つけては練習を頑張りました。

当日は雨のため体育館での開催となりましたが、32人全員出迎えることができました☆障害物競走はお家の方と一緒に忍者になってゴール！みんなの気持ちを一つにして演技したバルーン。どちらのチームも諦めずに頑張ったマット取り。最後のリレーは沢山の声援をいただきながら最後まで走りきりバトンを繋ぎました。Aクラスは競技だけでなく一人一人の係もあり司会・開会宣言・プラカード・体操リーダー・応援リーダー・チアリーダー・閉会宣言と、どの役も一人ひとりを発揮してくれました。よく頑張りました！

みんなで一つのことを成し遂げた達成感、一生懸命取り組んだ経験が自信に繋がれることを願っています。



運動会集!!

全力で楽しみました☆

Bクラス担任 中村 真子

「あとなんかいいねたらうんどうかい？」とウキウキした気持ちを持ちながら練習に取り組んだBクラス。まだまだ日差しが強い中、汗を滲ませながらみんなで頑張りました。

本番当日がやってきました。開会式で並んでいるときに「なんかドキドキしてきた。」「きんちようする。」といったもとは違う雰囲気戸惑う姿もありました。しかし、競技が始まるにつれその不安も解け、次第に笑顔になっていました。かけっこでは、ゴールで待つていましたが、みんな本気の顔、本気の走りに向かってきていた姿がかっこよかったです！親子競技も、おんぶしてもらったり、一緒



「ココロ、おどりました♪」

にアイテムを運んだり、お家の方と楽しむ姿にほっこりしました。「ココロ、おどるほうで。」はクラスのイメージにピッタリだと思いきや、練習の時は全員が揃うことも少なく、隊形移動の

変身などもあり、その都度覚えてもらいながら進めてきました。その中で、ばつちり本番は踊ることができていたので、さすがだなと感じ、何よりみんなが楽しそうに、笑顔で踊っている姿に感動しました。

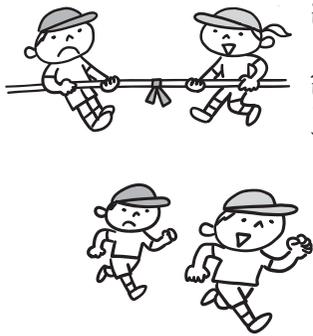
今年はいにくの雨模様でしたが、来年こそは晴れますように…。そして、Aクラスになったみんなを見るのがとても楽しみです☆



「みんなでダンス楽しいね!!」

楽しかった！運動会！
 C1クラス担任 相原 恵津子

Cクラスになり初めての運動会。運動会って知ってる？と聞いてみると「よーいどんするんだよね」「つなひきもある！」などと子ども達なりにイメージがあるようでした。3つの競技に参加することを伝えるとワクワク！ドキドキの表情の子ども達…。友だちと一緒にかけっこの練習をしていくうちに走る楽しさを感じて笑顔で走ったり、Aクラスのかけっこいい応援を真似て、小さな応援団が誕生したこともありました。ダンスも繰り返し取り組む中で振りも覚



えて、笑顔がたくさんみえるようになってきました。
 当日は、仁王小学校の体育館に少し緊張気味の子もいましたが、お家の人と参加したり、出来るようになったことをみんなに見てもらい自信へとつながっていることを感じ、私たちも嬉しく思いました。この運動会での経験がまた一つ子ども達を大きく成長させてくれることでしょう。これからの生活の中でも、友だちや先生との関わりを通して、たくさんのかことを経験し共に喜び合い過ごしていきたいと思えます。



お家の人と一緒に！
 いっしょにCクラス担任 齊藤 綾

「初めて」の運動会を経験する子どもも多かった保育部の子どもたち。かけっこやダンスなど、大きい組の子どもたちが練習する様子を見たり、体操や応援を教えてもらったりしながら「運動会ってどんなことをするのか？」と少しずつ興味が大きくなりました。運動会が近づく中で、Aクラスの応援団の姿にかっこいい！やつてみたい！と憧れをもち、ハチマキを巻いて応援団になりきって遊ぶ子どもたちの元気な声が保育部にも響いていました。
 当日は、いつもとは違う雰囲気にも驚いたり不安になったりする様子もありましたが、かけっこにダンスと大好きなお家の人と触れ合



「てんとうむし★」



いをもちながら運動会を経験することができました。親子ダンスでは、お家の人と一緒に嬉しそうに踊る子やお家の人にびったりくっついていた子、緊張した表情の子と色々な姿がありました。どの姿もかわいらしさ満点でほほえましく感じました。
 日々、様々なことを経験して大きくなっていく子どもたち。来年の運動会ではどんな姿が見られるのかこれからの成長がとても楽しみです。

保護者の方から行事のご感想



一学期保育参観

《Aクラス》

- ・親子で一緒に制作をすることが出来て楽しかったです。周りを見て行動できる子ども達の姿に、年長さんらしさを感じました。

- ・人前で話すのは苦手なようでしたが大きな声でお祈りをしている姿に嬉しくなりました。コロナ禍で休止のイベントもありましたが、幼稚園ラストの年に子ども達の成長を見ることができて感謝です。

《Bクラス》

- ・ハサミやクレヨンを上手に使う姿に「こんなことができるようになったのだな」と感じました。貴重な時間をありがとうございます。子ども達の自然な遊びも見えてみたくなりました。

- ・お友達を思いやる姿など、家庭では見られない部分を知ることが出来ました。集団生活に慣れて幼稚園を楽しんでいることが伝わってきました。

《Cクラス》

- ・成長を見ることができて良かったです。参観の時間がもう少し長かったら…と思います。

- ・子ども同士で譲り合うところも「社会性が育ってきたかも。幼稚園ってすごいな。」と思えました。年間の流れやねらいを教えてくださいましたことも、見通しがありました良かったです。

運動会

《保育部》

- ・初めての親子での行事、とても楽しかったです。他クラスの子ども達も間近で見ることができ、一年後二年後の我が子を想像してみたり…思い出がまた一つ増えました！

- ・応援団の真似をして「フレーフレー！」と、楽しんでいました。本番は泣いてしまいました。が、お家では衣装を着てダンスを元気に踊って見せてくれました。運動会で撮った動画を見て喜んでいました。自分から走り出す姿に昨年からの成長を感じました。

夏野菜に親しむ食育活動

栄養教諭 伊藤 晶子

七月四日は、2歳児の食育活動でとうもろこしの皮むきを行いました。皮つきの生のとうもろこしをみる機会が少ない子どもたちなのでどのようにして皮をむくか、興味津々で説明を聞いていました。意外と力があるようにみえるとうもろこしの皮むきですが、子どもたちに活動してもらおうと…バリバリッと新鮮なとうもろこしをむいている音が響き渡りました。熱中している子どもは「もうとやりたい！」「もう一本むきたい」と積極的に挑戦している姿もありました。また、むいたあとの皮の片付けを一生懸命行っている子もいました。皮むきをしたとうもろこしは、翌日の給食の際に全園児で味わい、旬の味に舌鼓を打ちました。

これから秋が深まり、旬の食材も多くでてくる時期になります。給食で提供して味わうのはもちろんですが、今回の食育活動のように実際に体験する食育活動を今後にも計画していきたいと思えます。

編集後記

今年も、常に暑さ指数を確認しながらの暑く長い夏でした。近頃はようやく曇雲が空を泳ぎ、心地よい風が吹くようになりました。夜に響く虫の羽音が耳に入ると、ほっと安心感を覚えます。

今年の運動会は、4年振りの通常開催！長い長いトンネルをやっと抜けられたような思いがします。当日も練習でも暑さとの闘いを強いられる中ではありましたが、

子ども達のやる気や充実感に満ちた表情、友達との繋がりを持って躍動する姿は、心の底から「頑張れ！」の気持ちを湧きあがらせてくれました。とても愛おしく、心が揺さぶられて、また大きな力をもらいました。これから深まりゆく秋の実りに期待が膨らみます。

学校法人 内丸学園

幼保連携型認定こども園

盛岡幼稚園

〒020-0001

盛岡市中央通一―六―四七

TEL 六二二―二三〇一

理事長 坂本 洋